

利尻島におけるモウコガマの記録

小杉和樹

〒 097-0401 北海道利尻郡利尻町杓形字富士見町 利尻島自然情報センター

Record of *Typha laxmannii* Lepech from Rishiri Island, Northern Hokkaido

Kazuki Kosugi

Informative Center for Natural Environment of Rishiri, Fujimi-cho, Kutsugata, Rishiri Is., Hokkaido, 097-0401 Japan

Abstract. *Typha laxmannii* was recorded from Rishiri Island, northern Hokkaido. This plant may be introduced by migratory birds.

利尻島におけるガマ科ガマ属は、松野（1984）によるガマ *Typha latifolia* の報告があるだけであったが、1996年8月17日に利尻島北部の大磯海岸でモウコガマを確認したので報告する。報告に先立ち、標本を作製していただいた利尻町立博物館学芸員佐藤雅彦さん、標本からモウコガマであることを判定していただいた植物写真家梅沢俊さんにあらためてお礼を申し上げる。

モウコガマを確認したのは、ハマタイセイの分布調査で大磯海岸を探索中であった。海岸から40m程内陸側の漁業用作業道を挟んだ砂丘地帯のくぼ地

（図1）にできた湿地に、スゲ類とクロヌマハリイ、イヌスギナ等が分布している中、背丈70cm程度で濃い褐色の果穂が5cm以下の本種30本程度が分布していた。

発見当初、日本国内の一般的な植物図鑑等にはモウコガマの記載等がなく、これまで利尻島で確認されているガマと違い、雄花部と雌花部との間に花のつかない軸部があることと明らかに雌花部が小さいことからガマとは別種と思われたものの、本個体をモウコガマであるとは思わず、利尻島では記録のないヒメガマ *Typha angustifolia* として記録した（利



図1. 利尻島大磯海岸（写真中央低灌木手前がモウコガマ確認地）。



図2. 利尻島大磯海岸で確認されたモウコガマ (1996年8月17日撮影).

尻町立博物館・利尻島自然情報センター, 1997).

しかし、ヒメガマでは高さが1.5m以上あることや果穂が10cm以上あること、更に果穂が白っぽい褐色であることなどから、本個体がヒメガマとも違うのではないかと考え、写真撮影(図2)を行ったのち1個体を採取し、標本(RTMP139)として利尻町立博物館に収蔵したが、その後も納得がいかず、1997年7月31日、調査で来島された植物写真家梅沢俊氏に標本を見ていただき、モウコガマ *Typha laxmannii* であることが判明した。

モウコガマは本来、中国東北部からヨーロッパにかけて分布する種であるが、利尻島で発見された同時期に日本国内の他地域においても帰化の報告がされていた。勝山(2003)によれば、国内における確実な報告は1996年の千葉県芝山町のものとされ、北海道石狩川河口でも、与那覇・高橋(1997)が1994年に採取した小型ガマについて1996年にモウコガマであることが判明したと報告している。利尻島大磯海岸の分布も、それまで地元の漁業者が立ち入る程度で、植物等の調査はされないところであったことから、実際の分布開始は1996年以前とも考えられる。

帰化の原因について、千葉県芝山町の例は池の造成時の植栽植物に付着して持ち込まれたと推定され、北海道石狩川のは渡り鳥による種子散布の可能性を示唆している。利尻島の例も、アジア大陸の内陸で繁殖し、南下途中で立ち寄るタカブシギや

クサシギといったシギ類が周辺で観察されることから、これら鳥類による種子散布と推測された。

しかし、2001年を最後に同所でモウコガマは確認されておらず、分布が小規模であったことから消滅したと思われるが、今後も同所や他の湿地等の定期的な分布調査をするなどして、経過を観察する必要があると思われる。

なお、利尻島産植物目録(1997)に記載したヒメガマは、筆者が本モウコガマをヒメガマとして記載したものであり、あわせてここに訂正してお詫び申し上げます。

参考文献

- 松野力蔵, 1984. 利尻島の植物目録と礼文島特産植物目録. 38 pp. 自刊.
- 利尻町立博物館・利尻島自然情報センター, 1997. 利尻島産植物目録. 利尻町立博物館・利尻島自然情報センター.
- 勝山輝男, 2003. ガマ科. 清水建美(編), 日本の帰化植物: 292. 平凡社, 東京.
- 梅沢 俊, 1999. 北の花つれづれに. 共同文化社. 札幌. 207 pp.
- 与那覇モト子・高橋美智子, 1997. 石狩川下流左岸の攪乱地に侵入した植物. 北海道の絶滅危惧植物の現状 2. 北海道絶滅危惧植物調査研究グループ, 33-47.